横浜に究極の自然派物件

都市生活に疑問感じ始め

シェアハウス利用者急増

樹上の暮らし 別荘のように

東京や横浜の若者の間で「シェアハウス」の利用者が急増している。キッチンやリビングを共同利用し、入居者同士のコミュニケーションを尊重する点で、「ワンルームマンション」と対照的な発想ともいえる。最近は古民家風や広い共用スペースを持つなどの特色のある物件が特に注目されている。横浜市神奈川区三ツ沢東町に生まれた究極の自然派シェアハウスを訪ねた。【福井聡】

住宅街の坂道を上り詰めると頂上近くに枝を広げた巨木が立ちふさがる。クスノキ科のタブノキで、通称「なんじゃもんじゃの木」。「大関商品研究所」(東京都港区)の大関耕治社長が3年前、「この木を中心にしたシェアハウスができないか」と考え、苦労して整地した上、木の上にツリーハウスを作り、昨年末、完成させた。共有スペースのツリーハウスはこの家の象徴的な存在だ。

正式名称は同社が展開するシェアハウスのシリーズ名から「バウハウス横浜」だが、入居者たちは「なんじゃもんじゃハウス」と呼ぶ。現在入居している20~30代の男女8人はいずれも木や自然が好きで、平日夜や週末にはリビングに集い、料理を作ったり、お酒を飲んだり、音楽を楽しむという。玄関横のミニ農園ではトマト、枝豆、ミントなども栽培している。

「なんじゃもんじゃハウス」の象徴であるツリーハウスの下に座る立花さん

会社員の立花佳奈子さんは、入居を決めた理由として①ツリーハウスの圧倒的な存在感②すべての部屋から竹林が見える自然環境③テラスから見渡せる横浜・三ツ沢の遠景――を挙げた。「都会なのに別荘のように暮らしを楽しめる」と気に入っている様子だった。

「入居者同士が集い、話す」がシェアハウスの特徴だ。バウハウス横浜を仲介する「ひつじ不動産」(渋谷区)の北川大祐社長は「プライバシーだけが優先され、隣の住人の顔も知らないような都市生活に、みんなが疑問を持ち始めている」と話している。

同社によると、シェアハウスの起源は、外国人同士が部屋をシェアして暮らしていた外国人ハウスとされる。次第に日本人入居者が増え、家具・備品付きで長期入居するシェアハウスとなった。5年ほど前から増え始めたが、特に昨年から都内などで急速に拡大している。ただし、都内や横浜市の賃貸物件に占める割合は依然として1割程度。「他人に気を使いたくない」と敬遠する人も少なくないという。

「シェア住居」の賃貸を仲介する「ひつじ不動産」(渋谷区)の北川大祐社長は「プライバシーだけが優先され、隣の住

「SEXY居酒屋ふじこちゃん」JR横浜駅前店が入居するビルに家宅捜索に入る県警捜査員=横浜市中区で5月17日

少女、トラブルの危

ガールズ居酒屋 経営者ら逮捕 監視強める

首都圏で増加している「ガールズ居酒屋」を巡り、県警少年捜査課などが13日、16~17歳の少女4人に下着やビキニ姿で接客させたとして、横浜市中区の「SEXY居酒屋ふじこちゃん」JR横浜駅関内駅前店の経営者ら4人を労働基準法(危険有害業務の就業制限)違反容疑で逮捕した。ガールズ居酒屋は18歳未満の少女を働かせるケースが多く、トラブルに遭う危険性も指摘されているため、県警は監視を強めている。

逮捕されたのは▽元経営者、土岡剛(43)▽現経営者、川勝博史(40)▽店長、永谷剛也(45)の4容疑者。同課によると、いずれも容疑を認め、川勝容疑者は「売り上げは多い時で月2700万円」と供述。土岡容疑者は、タレントの小倉優子さんや元モーニング娘。の藤本美貴さんをイメージキャラクターにした焼き肉店の運営会社「ももじろうグループ」(京

横浜 KANAGAWA
yokohama@mainichi.co.jp

横浜支局
〒231-0005
横浜市中区本町1の3緑通横浜ビル6階
☎045(211)2471
FAX045(211)2475
川崎支局
〒210-0004
川崎市川崎区宮本町7の2
☎044(244)8518
FAX044(210)1457
さがみ支局
〒243-0417
海老名市本郷2700の1
☎046(238)5840
FAX046(238)5881
小田原支局
〒250-0013
小田原市南町4